

ハーエンキルヒェン=ジーガーツブルン
2018年12月17日

TRACE32 : Future-proof (将来性のある) Arm Cortex-M デバッグ/ トレースツール

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、Cortex-M ベースのデバイス用のデバッグ/トレースプローブの改訂版を発表しました。Cortex-M プロセッサが高い周波数でクロックされるようになるにつれて、トレースポートクロックも遅れを取らずに貴重なデータの損失を防ぐために増やす必要があります。終わらない周波数の上昇に対応して、将来に使い続けられるソリューション開発者に提供するために、新しい高速ウイスキーケーブルは、1~4 ビット幅のトレースポートで最大 200 MHz のトレースクロック周波数で動作するように設計されており、最大 200 MB /秒の合計トレースポート帯域幅を提供しています。

トレースクロック速度が上がると、パラレルトレースピンがサンプリングされたときの信号のミスマイメントのリスクが高まります。高速ウイスキーケーブルには、トレースポートのクロック周波数を検出するだけでなく、各ピンの最適なサンプリングポイントを調整してデータ信号のタイミングにおけるアライメントの問題を解消することのできる、革新的なオートフォーカステクノロジーが含まれています。各信号が各ピンに対して有効なデータ（データアイ）を含むポイントは、TRACE32 PowerView ソフトウェアで表示できます。ジッター、立ち上がり/立ち下がりエッジに関する詳細情報も表示され、ユーザーは各信号のサンプリングポイントを手動で調整することができます。これらのサンプリングポイントを一度設定すると保存して、このターゲット上のツールの今後もリコールすることができます。

ローターバッハ社の国際セールスマネージャを務める Norbert Weiss は次のように述べています。「ローターバッハ社のツールは常に長期的な投資と見なされてきました。この革新的なテクノロジーにより、開発者により将来性のあるソリューションを提供します。オートフォーカステクノロジーにより、Cortex-M 用のデバッグ、トレースツールは理論上、理想ではないものも含め、さまざまなターゲットボードで使用できます」。

発送時期

TRACE32 μ Trace と CombiProbe 用の高速ウイスキーケーブルは 019 年 1 月から発送を開始します。
2018 年内にこれらのユニットを購入したお客様は無料でアップグレードをすることができます。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.